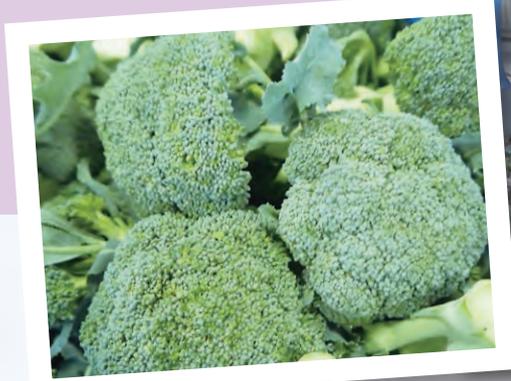
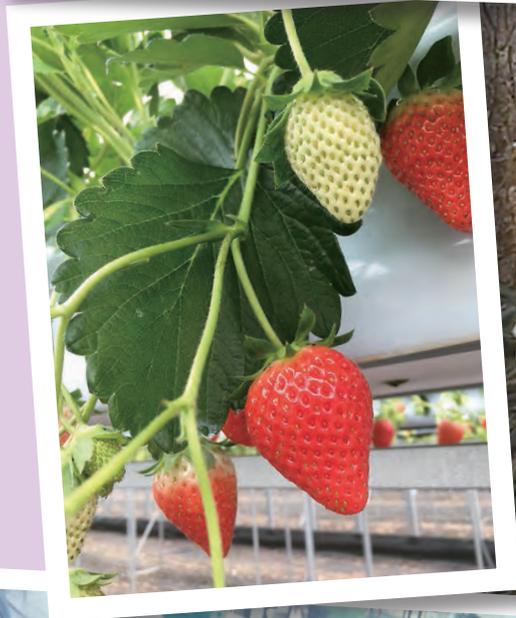


伊賀市議会だより

No.64
2021.2.1



みんなの可能性は無限大！



農福連携に取り組む吉田さん 関連記事は 15、16 ページ

伊賀市体育施設条例の一部改正

全員賛成で
可決

上野運動公園プール跡地に「上野運動公園多目的グラウンド」が完成します
(令和3年4月供用開始予定)

質疑（委員会）

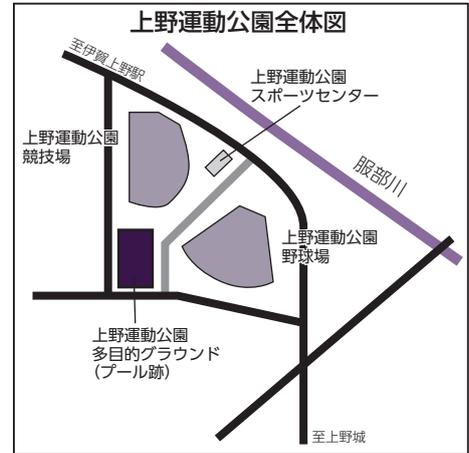
問 上野運動公園多目的グラウンドの整備にあたり、なぜ照明設備を設けないのか。

答 一次的な整備ということや予算の関係から照明を設置しないことにしました。

討論（委員会）

賛成

伊賀市は生涯スポーツ宣言をしている都市であり、当該箇所はスポーツ施設が集積している場所でもあるので、今後、経費を捻出し、照明の設置にむけた議論をしてほしい。



伊賀市地区会館条例の廃止

全員賛成で
可決

公共施設最適化計画に基づき、「寺田公民館」は地区に無償譲渡、「久米町ふれあい会館」は売却します

質疑（委員会）

問 久米町ふれあい会館の売却について、土地はどのようになるのか。

答 建物と同時に売却していく方向で検討します。

討論（委員会）

賛成

売却については、管財課と協力し、市民に広く周知するとともに、速やかに進めてほしい。

指定管理者の指定（伊賀市文化会館ほか2施設）

全員賛成で
可決

「伊賀市文化会館」「あやま文化センター」「青山ホール」の指定管理者に公益財団法人伊賀市文化都市協会を指定します
(指定管理期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日)

質疑（委員会）

問 トイレの洋式化などの施設整備は、市と指定管理者のどちらが行うのか。

答 施設整備は市の責任で行います。施設の長寿命化計画を策定し、計画的に修繕していきます。



伊賀市文化会館

討論（委員会）

賛成

- 施設整備についての市の責務が文化振興ビジョンにも明記されているので、納得して利用してもらうような施設はどのようなものかを念頭に、スピード感を持って行ってほしい。
- 全体的な改修計画を考えることは必要であるが、最低限必要なトイレの改修は早期に進めてほしい。

指定管理者の指定（だんじり会館）

全員賛成で

可決

だんじり会館の指定管理者に一般社団法人伊賀上野観光協会を指定します
(指定管理期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日)

質疑(委員会)

問 指定管理料が大幅に上昇しているのはなぜか。

答 コロナ禍で入館者数が大幅に減少し、入館料が今後5年間で約2,500万円の減少が予想されること、さらに従前から指定管理者が毎年400～500万円近い赤字補填をしていたことが理由です。

問 施設の修繕費は、市と指定管理者でどのような分担となっているか。

答 10万円までの修繕は指定管理者が行い、それを超える修繕は市が行っています。



だんじり会館

討論(委員会)

賛成 指定管理者が行う修繕費の上限額引き上げについて検討すべきである。

伊賀市重度障害者福祉手当支給条例及び伊賀市重度障がい児福祉手当支給条例の廃止

賛成多数で

可決

在宅の重度障がい者及び重度障がい児の生活向上を目的に創設された福祉手当を、今年度限りで廃止します

重度障がい者福祉手当 36,000円/年

重度障がい児福祉手当 60,000円/年

→ 令和3年4月1日以降廃止

質疑(委員会)

問 なぜ今、手当を廃止するのか。また、代替措置などはあるか。

答 他のサービスの充実が求められる中で、本給付はその役割を一定果たしたと考えています。また、要望の多い移動に関するサービス(タクシー券、自動車燃料券等)は倍額に、介護用品(紙おむつ)購入補助については支給限度額を引上げたい(4,000円⇒5,000円)と考えています。

討論(委員会)

賛成

代替措置はサービスの向上につながると考える。

反対

代替措置は現受給者全てに恩恵がある訳ではなく、サービスの低下にほかならない。

伊賀市寝たきり高齢者等福祉手当支給条例の廃止

賛成多数で

可決

寝たきりなど的高齢者の在宅生活向上を目的に創設された福祉手当を、今年度限りで廃止します

福祉手当 36,000円/年

→ 令和3年4月1日以降廃止

質疑(委員会)

問 条例廃止後、受給者への代替措置などはあるか。

答 介護用品(紙おむつ)購入費給付事業の支給限度額を見直す(4,000円⇒5,000円)ことや、認知症対策事業の拡充を検討しています。また、認知症高齢者等が利用する県の日常生活自立支援事業助成が来年度から廃止されるため、そちらの事業を継続する財源にしたいと考えています。

問 受給者や家族へのセーフティーネットについてどのように考えるか。

答 福祉へのニーズは複雑かつ多様化してきており、市はまだそれに追いついていない部分があります。今後は、国・県の補助金メニューを最大限活用しながら検討していきます。

討論(委員会)

賛成

苦渋の決断だが、他の自治体を参考にし、今後のセーフティーネットも併せて考えていただき、漏れないケアを期待する。

反対

受給者やその家族の意見を聴き取りした上で慎重に進めるべきである。また、介護保険制度の利用者や家族の負担は増えるばかりで月額3,000円の支給廃止はサービス低下にしかならない。

伊賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

全員賛成で

可決

市の職員が新型コロナウイルス感染症に関する業務に従事した場合、特殊勤務手当を支給します

質疑(委員会)

問 会計年度任用職員は、防疫作業等従事手当の支給対象となるのか。

答 支給の対象となります。

問 すでに従事した職員の人数は。

答 PCR検査の検体採取に従事した保健師が17名、また陽性患者が出た学校、保育所等(7施設)を消毒作業した職員が70名です。



副市長の選任

全員賛成で

同意

令和2年12月31日で任期が満了する副市長の大森秀俊氏を、引き続き選任します(選任期間：令和3年1月1日から4年間)



新型コロナウイルス感染症にかかる人権への配慮と同感染症の克服を目指す決議

全員賛成で

可決

新型コロナウイルス感染者等への人権に配慮し、この難局を克服していく必要があることから、伊賀市議会は、以下のとおり表明する決議をしました

1. 我々は、医療関係者など新型コロナウイルス感染症対策に従事する全ての方々に感謝し敬意を払います。
2. 我々は、感染者等に対するSNS等の媒体による心ない誹謗中傷、誤った情報の拡散、興味本位で感染者や感染経路を特定しようと詮索することなど、あらゆる人権を侵害する行為を許しません。
3. 我々は、子ども達がいかなる状況の中でも学びを続け、友達や周りの人を大切にして元気に生活できるよう、市、市民と共に応援します。
4. 我々は、感染者等に対する心のケアに努め、市、市民と一体となって感染症の克服を目指します。



選挙管理委員を選出

12月1日の本会議において、令和2年12月23日に任期満了となる選挙管理委員とその補充員の選挙が行われました。選出された方は次のとおりです。

※補充員は、選挙管理委員が欠けたとき、順位に従って選挙管理委員となります。

選挙管理委員

池口 法行氏
福川喜志子氏
山菅 善文氏
竹岡 良昌氏

補充員

順位第1番 浦堀美智子氏
順位第2番 藤田 建五氏
順位第3番 福岡 桂子氏
順位第4番 松井 隆昇氏

審議した議案と各議員の賛否

○印は賛成、×印は反対。欠は欠席。なお、近森議員は議長のため採決に入っておりません。

件名	賛成：反対	議決結果	川上	北森	信田	西口	福村	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	嶋岡	田中	福田	生中	上田	近森	中谷	百上	北出	空森	岩田	安本	中岡		
			善幸	徹	利樹	和成	教親	栄樹	弘子	典子	岳人	久実	壮吉	寛	香織	正嗣	宗久	正利	一彦	真奈	忠良	栄幸	佐俊	美栄子	久徳		
市長提出議案																											
伊賀市職員の給与に関する条例の一部改正	20:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
伊賀市重度障害者福祉手当支給条例及び伊賀市重度障がい児福祉手当支給条例の廃止	16:5	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○		
伊賀市寝たきり高齢者等福祉手当支給条例の廃止	17:4	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○		
全員賛成（同意を含む）で認定した議案（福田議員は欠席のため全ての採決に入っておりません。）																											
市長提出議案			<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度伊賀市一般会計補正予算（第6号） 令和2年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） 令和2年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 令和2年度伊賀市病院事業会計補正予算（第2号） 令和2年度伊賀市下水道事業会計補正予算（第1号） 伊賀市体育施設条例の一部改正 伊賀市指定居宅介護支援等の事業の人員、運営に関する基準を定める条例の一部改正 伊賀市地区会館条例の廃止 指定管理者の指定（伊賀市文化会館ほか2施設）（しらさぎ運動公園多目的グラウンドほか2施設）（島ヶ原会館）（伊賀市盲人ホーム）（阿山ホーム かざぐるま）（放課後児童クラブキッズうえの）（放課後児童クラブフレンズうえの）（成和西放課後児童クラブ）（成和東放課後児童クラブ）（壬生野放課後児童クラブ）（柘植放課後児童クラブ）（島ヶ原放課後児童クラブ）（阿山放課後児童クラブ「ポップコーン」）（大山田放課後児童クラブ「あっとほうむ」）（放課後児童クラブ「げんきクラブ」）（阿保西部集会施設）（伊賀市シルバーワークプラザ）（だんじり会館）（岩倉峡公園キャンプ場）（青山ハーモニー・フォレスト） 教育委員会委員の任命（内藤 扶基氏） 島ヶ原財産区管理委員の選任（川 肇氏、橋本 政美氏、川畑 忠光氏、川北 和一氏、山菅 善宣氏、松永 伊巳氏、上原 孝浩氏） 大山田財産区管理委員の選任（馬岡 清史氏、中澤 敏之氏、松裏 量大氏、山口 寛美氏、廣島 義久氏、井上 治男氏、西尾 長彦氏） 令和2年度伊賀市一般会計補正予算（第8号） 副市長の選任 												<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度伊賀市一般会計補正予算（第7号） 令和2年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算（第1号） 令和2年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 令和2年度伊賀市水道事業会計補正予算（第2号） 伊賀市職員の育児休業等に関する条例の一部改正 伊賀市保育所条例の一部改正 伊賀市火災予防条例の一部改正 財産の無償譲渡 公平委員会委員の選任（松永 彰生氏） 伊賀市職員の特種勤務手当に関する条例の一部改正 												
議員提出議案			<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市議会委員会条例の一部改正 新型コロナウイルス感染症にかかる人権への配慮と同感染症の克服を目指す決議 																								

新たな副議長が決まりました！

令和2年10月2日の前副議長 森川徹氏の議員辞職に伴い、市川岳人議員が副議長に就任しました。（12月1日就任）

副議長



いちかわ がくと
市川 岳人

ごあいさつ

このたび、副議長に就任しました市川岳人です。
新型コロナウイルス感染症の拡大により、まだまだ先の見通せない不安な状況にありますが、市民生活の安定、市政発展のため議長とともに議会の総合力を発揮できるよう全力で取り組んでまいります。

市川議員が副議長に就任したことにより、委員会の構成に変更がありました。変更箇所は次のとおりです。

委員会名	構 成		◎委員長	○副委員長
予算常任委員会	◎市川 岳人	○岩田 佐俊	議長を除く議員	
決算常任委員会	◎市川 岳人	○岩田 佐俊	議長及び監査委員を除く議員	
議会運営委員会	◎生中 正嗣 上田 宗久	○北出 忠良 中谷 一彦	北森 徹 岩田 佐俊	福村 教親 安本美栄子
広報広聴委員会	◎市川 岳人 福村 教親	○宮崎 栄樹 山下 典子	川上 善幸	信田 利樹 百上 真奈

一般質問

市政を問う

市内における新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、12月定例会の一般質問は、重要性、緊急性を考慮した内容、かつなるべく質問時間の短縮に努めることとしました。15人の議員が市の諸問題について質問し、その主なものを掲載しています。(12月8日～10日)。

【QRコードで録画映像をご覧くださいませ。】

川上 善幸 議員

質問項目

- 支所と地区市民センター
- 送迎サービス事業



問 支所機能の継続を

支所廃止は市民にとって危機感を感じている方が多くいますし、支所廃止に対して大山田地域から慎重審議を求める要望書も出ています。災害時の初動体制を不安視する声も聞いています。コロナ禍でタウンミーティングもできずアンケート調査のみで意見を集約し、令和4年4月1日から支所の新体制を進めるのは拙速です。完全廃止してしまうのか支所機能は残すのか教えてください。

答 現在の支所機能を一部残します

枠組みをリセットし、新しいエリアの地域振興センターで、証明発行など支所機能

の一部を残します。

問 送迎サービス事業者に支援を

コロナ禍の状況で、介護保険外の介護・福祉タクシー、福祉有償運送事業者には感染防止対策の支援が全くありませんがどうなっていますか。

答 マスクや消毒液等の支援をしません

介護保険外には国の支援がないので、事業者に聞き取りをして市の予算の中からマスクや消毒液等の配付準備を進めています。

QRコード▶



福村 教親 議員

質問項目

- 成人式開催にあたってのコロナ対策
- 買い物バス
- 「誘客多角化等のための滞在コンテンツ造成」採択事業



問 今後、「誘客多角化等のための滞在コンテンツ造成」のような国の事業へのエントリーについて、市としてどう考えるか

答 賑わいづくりは重要な課題と考えます

自ら汗をかいて主体的・積極的にまちづくりに取り組まれている方々には、しっかりと行政もサポートしていきたいと考えています。

問 上野西部地区住民自治協議会では、独自で買い物バスを運行しているが、行政の協力体制は

答 お買い物バスに市が支援することは、道路運送法上の課題があります

行政の手が届きにくい住民サービスを担っていただいている事には感謝しています。法による地域運行バス制度に許可登録いただければ、行政の支援として8割の経費負担ができます。令和3年度から公共交通計画策定を行い、スクールバス・買い物バス・病院送迎バス等々を総動員して市民の移動手段の確保に努めます。

QRコード▶



百上 真奈 議員

質問項目

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 市営住宅の駐車場管理
- 支所の廃止計画



問 医療関係者等に「社会的検査」を

コロナ感染者が出れば、クラスターになり重症者が増えるリスクのある医療機関や高齢者施設等で働く人たちに、定期的にPCR検査をする「社会的検査」を伊賀市でも実施してください。

答 研究します

実施機関の確保や実施方法、予算確保などに課題があり、効果や他市の状況を見て研究します。

問 今後の市営住宅の駐車場管理は

管理組合決算書の偽造、市有地使用料の大幅減免、2団体による駐車場料金分配の

3点について不正行為と認めますか。同和課の所管である市有地を住宅課に移し、市が駐車場管理をすべきではないですか。

答 現在の管理で、会計の透明性を高めます

一部事務処理について不適切でしたが、不正行為ではありません。同和課の所管ですが、現時点で問題はありません。今後はいろいろな意見を聞き、だれもが「そうだな」と思える形にしていきたいと思います。

QRコード▶



一般質問

宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 岡本市政3期目「こども、暮らし、にぎわい。」の公約実現に向けて
- 阿波地域の風力発電事業計画
- 市内の養鶏場の悪臭対策



問 学校給食費無償化を伊賀市の魅力に

学校給食費無償化は全国約70自治体でしか行われていない特色ある政策です。「子育て支援」はもちろん「少子化対策」「移住促進」「貧困対策」「食と農の産業振興」など横断的な伊賀市の魅力になる可能性があることから継続して実施してください。

答 実現に向けて取り組みます

学校給食費無償化は重要な政策と位置付けており、他部局とも連携して実現に向けて取り組みます。

問 西柘植地域の養鶏場の悪臭対策を

西柘植地域（新堂）にある養鶏場の悪臭対策は、鶏の数も約50万羽に増え成果があがっていないという声があります。地域住民の生活環境を守るために、市として対策強化を業者に強く求めてください。

答 悪臭は認識しており、市長名で指導します

耐え難い悪臭であることは、現場を見て五感でも認識しています。市長名で業者に対して指導しつつ申し入れをしていきます。

QRコード▶



北出 忠良 議員

質問項目

- 農林業の振興とため池
- 伊賀支所（図書室を含む）移転計画
- 上野南部丘陵地



問 農村にも賑わいを

中心市街地だけでなく、農村部にも訪問者や移住者が行き交う賑わいが必要と考えますが市長の見解を伺います。

答 伊賀の魅力発信に

地域の皆さんが具体的に行動を起こそうとする起業家精神が不可欠です。

地域の皆様のやる気と地域に存在するハード・ソフトの資源を組み合わせれば農村部の賑わいづくりが実現すると考えます。

問 スマート農業を

スマート農業の推進策を伺います。

答 補助率アップに

市単独事業では集落営農組織を支援し、補助率を上げてラジコン草刈り機やドローン等を優先採択したいと考えています。

問 農業用ため池を

今後の維持管理をどのように考えていますか。

答 地域負担の軽減に

地域負担軽減を図るため、多面的機能支払交付金制度への参画を促していきたいと考えています。今後、劣化状況評価、地震・豪雨耐性評価を実施し工法の決定と共に事業化を図ります。

QRコード▶



田中 覚 議員

質問項目

- 3期目の市政運営



問 先の市長選挙の得票率が過半数を越えなかったため、落選されたお二人の意も含めて市政に当たってほしい

答 岡本栄に投票をいただかなかった、もしくはアカンと思われた市民の方に、何をもってそう思われたかをメールなどでお教えをいただきたいです

問 市長公約の「こども、暮らし、にぎわい。」は第2次総合計画第3次計画中間案と背反していませんか

答 今、総合計画をまとめているので整合させます

問 財政の裏付けが見えません

答 事業の第三者的な見直しをしていきたいです

今は申しませんが、財源の確保をしていく思惑もあります。

問 所信表明の「伊賀の元気」とは

答 総合計画の各政策に対する市民アンケートの満足度・参画度を指標とします

問 歳入増も指標であり、バラまきや市民満足度だけではいけません

今後も観光戦略がキーワードのようですが、コロナ禍で変化しませんか。

答 これからの観光は量よりも質を求めます

QRコード▶



☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

赤堀 久実 議員

質問項目

- 住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化
- ごみ分別アプリ



問 外国語対応ごみ分別アプリ導入を

伊賀市ごみ分別アプリは、スマートフォンにダウンロードすれば、お住まいの地区のごみ収集日、分別区分や出し方などが簡単に確認することができる無料アプリです。ごみ捨て忘れ防止のアラーム機能もあり大変便利です。現在、日本語だけですが外国語対応のアプリを導入すれば、外国にルーツのある方は、スマートフォンをお使いの方が多いため活用して頂けると思います。また、日本人・外国にルーツのある方にアプリの活用を啓発することで、地域のごみ出し問題の解決の一つになると思いますがいかがですか。

答 早急に進めます

現在、紙媒体でごみ分別や出し方の啓発を行っています。今後、英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語・スペイン語の5ヶ国語を導入したいと考えています。一斉にスタートが出来なくても、人口比率が高い順から早く導入をしていきます。



※対応バージョン：iOS 5.1.1以降、Android 2.3以降

QRコード▶



信田 利樹 議員

質問項目

- コロナ禍の予算・財政
- 地区市民センターと住民自治協議会



問 コロナ禍で厳しい財源の中での予算運営方法は

いつまで続くかわからないコロナ禍で税収収入等が減り財政的に苦しくなると思いますが、どの様な財政運営をされますか。

答 リーマンショック時を参考に

来年度も含め次年度以降の予算編成は、リーマンショック時を参考に市税収入減を想定し、コロナ禍が一定継続されても市民サービスの維持ができるよう事務事業の見直し等多様な考えを取り入れ財政運営を進めていきます。

問 地区市民センターの指定管理者制度導入期限は

令和4年度から選択制で指定管理者制度を導入するとのことですが、指定管理を導入できない自治協議会はいつまでという導入期限はあるのですか。

答 期限は決めていません

望まれる地域から導入をしていただき、市としてはいつまでに住民自治協議会に指定管理者制度導入という期限は決めていません。導入できないところはこれまでと同様に市直営で管理していきます。

QRコード▶



生中 正嗣 議員

質問項目

- 市長の所信表明に関連して



問 市長が描く「賑わいのまち」とは

様々な施策の中で「賑わいのまちづくり」「活性のまちづくり」とよく言われますが、「賑わいのまち」とは、どのようなまちをイメージされていますか。

答 活気にあふれるまちです

日常生活の中で人と人との交流が生まれ、社会・経済・文化的活動が盛んで活気にあふれるまちと捉えています。

問 賑わいづくりには公共交通網の充実が不可欠では

「賑わいのまち」とは多くの市民が寄り合えるまちであり、伊賀鉄道を柱として各地域から街中にアクセスができる公共交通

の整備・充実に大きな投資が不可欠と思っておりますがいかがですか。

答 みんなで考えてまいります

「伊賀鉄道」は先人によって作られた最も重要な社会インフラの一つであり、みんなで守り、育て、そして活用していくことが大切です。アクセスについてもしっかりとみんなで考えてまいります。

QRコード▶



一般質問

安本 美栄子 議員

質問項目

- コロナ禍での行政運営（対応）



問 コロナ禍での財政状況について次の3点を伺います

- ① コロナ対策関連の歳出と財源。
- ② 市税をはじめとする歳入の変化。
- ③ 中長期財政見通しと今後の対策。

答 新たな財源確保に全庁的に取り組みます

- ① 新型コロナウイルス感染症対策に係る関連予算の総額は、特別定額給付金など総額約123億円で、その財源は国県からの補助金が約110億円、市の負担額として約13億円で、その財源は主に基金と起債です。
- ② 市税は、11月末時点で法人市民税が約

2,500万円減ですが、全体では前年と比べて微増となっています。

③ 財政見通しについては、コロナの影響を充分に加味することが難しいことありますが、市民サービスの維持に必要な予算を確保するため事務事業の見直しによる歳出削減が必要と考えています。合わせて、市有財産の売却、公共施設の最適化、企業誘致の促進、産業の活性化による新たな財源の確保など、全庁的な取り組みが必要と考えています。

QRコード▶



山下 典子 議員

質問項目

- 投票率向上の取組
- 防災行政無線
- 公共交通
- 水道事業



問 アナログ方式の終了までに防災行政無線の整備を

防災行政無線のアナログ方式の周波数の使用期限は2022年11月30日です。それまでに整備しないと防災情報の空白期間を作ることになります。整備のお考えは。

答 何らかの方法で整備することを検討します

問 ※DXの時代誰一人とり残さない交通体系について市長の考えは

答 不特定多数を対象とした大量輸送の時代は終わったと確信しています

これからは、タクシーのようなものを助成して運行することが大事だと思います。

問 水道料金の値上げは

「伊賀市水道事業基本計画」の説明会で水道料金の値上げについての質問に対して、担当者が「この事業の計画年度である15ヶ年は値上げしません」と答えました。その答弁は現在も変わりませんか。

答 今後大きな社会経済情勢の変化がない限りは、現行の料金体系を維持していきたいと考えています

※DX：Digital Transformation 情報通信技術が生活をより良くすること

QRコード▶



中谷 一彦 議員

質問項目

- 保育におけるIT活用
- 買い物バスを運行している事業者に対する行政支援



問 買い物バスを運行している事業者に対する行政支援は

無償運行バスへの行政の経費支援は法の規制で難しいですが、地域運行バスに移行すれば経費支援できますか。

答 地域運行バスに移行していただくと支援できます

市民の暮らしを守るための無償お買い物バスに感謝しています。買い物バスを持続可能なバスとするため、道路運送法の許可・登録による地域運行バスへ移行いただくと、運行経費の8割を市が助成します。また、移行に向けたサポートもさせていただきます。

問 今後の保育におけるIT活用は

IT活用で事務作業が効率化でき保育士の働き方改革になるため、進めていく考えはありますか。

答 導入を進めていきます

保育所・保育園へのITシステム導入については、現場の保育士たちの意見を聞きながら進めていきたいと考えています。また、事業実施については国県補助金を活用していきたいと考えています。

QRコード▶



☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

北森 徹 議員

質問項目

- 新型コロナウイルス感染者への人権配慮



問 学校でのいじめに繋がらない感染者への人権の配慮は

答 「なくそう!偏見、いじめ・差別」などの教材を用いて指導しています

感染者が出る以前から、コロナに関する差別をしない、させないために子どもたちへの指導、また保護者へも懇談会などを通じ啓発を行っています。陽性や濃厚接触となった子どもたちには、本人はもちろん家族にも寄り添いながら連絡を密にして不安解消に努めているほか、登校した際には、周りの子どもたちによる心ない言葉がけがないかなども見守りながら、偏見・差別がなくなるよう取り組んでいます。

問 クラスター発表に対する風評被害等への取り組みは

答 今戦うべき相手はコロナであり人ではないということを理解いただくのが一番大切です

事業所名の公表によって、従業員のかたが差別を受けるという事はあってはならず、市域全体の啓発の取り組みを強化し、全ての市民が差別や人権侵害を受けず、生きやすい社会を目指します。

QRコード▶



上田 宗久 議員

質問項目

- 県境の道路行政
- 農業用ため池の廃池事業



問 県境の道路整備工事にかかる交通安全対策は

伊賀市側から奈良県境へ向かう道路の整備工事は、長期間休止状態となっています。地元花垣地区から三重県伊賀建設事務所への「道路拡幅と交通安全対策の要望」にかかる現場視察の際、県境より奈良県側の道路改良工事を来年1月上旬に開始する旨、奈良県住民から報告がありました。三重県側の今後の対応についてお伺いいたします。

答 安全対策は三重県が実施します

三重県側の当面の対応としては、奈良県側の整備工事の進捗に合わせ、カラーポー

ルの新設、木の枝の伐採、カーブミラーの大型化、路面表示などの交通安全対策を行うとのこととです。

問 農業用ため池の廃池事業の現状は

答 7箇所で行っています

約100箇所廃止要望がある、決壊すると周辺の家屋などに被害を及ぼす防災重点農業用ため池のうち、現在、正式に申請をいただいている7箇所の廃止事業に取り組んでいます。

QRコード▶



嶋岡 壮吉 議員

質問項目

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 森林の整備・保全



問 農林家が新型コロナウイルスに感染した場合の作業委託に対する支払い補助は

答 直接的な支援制度はありません

6月に設置した市単独事業である伊賀市農産物販売価格低下対策事業、伊賀牛販売価格低下対策事業、伊賀市事業継続応援給付金や国の支援事業である高収益作物次期作支援交付金、経営継続補助金、持続化給付金などを活用し、その補助金を委託料に充当いただきたいと思います。

問 再生利用が困難な農地にセンダンを植栽しては

答 選択肢の一つとして参考にします

センダンの木は落葉広葉樹で、土質を問わず丈夫に成長します。家具材として有名なマホガニーの仲間であり、樹木自体は家具材として、樹皮は(※)虫下し、葉は虫よけとして薬用に重宝されています。伊賀市の気候風土にフィットする樹種を植栽し、独自性のある森づくりや林業事業を推進していきます。

※虫下し：内服して回虫などの寄生虫を体外へ出す薬。駆虫薬。

QRコード▶





教育民生常任委員会

伊賀市PTA連合会と意見交換 10月13日(火) 教育研究センター

本年9月に所管事務調査を行った「学力向上にむけた取組について」の資料に基づき、伊賀市PTA連合会と出前講座を開催しました。

議員から、平成31年度 全国学力・学習状況調査(市内小学校6年生と中学校3年生)の結果を説明しました。また市では「確かな学力の保障」「人権・同和教育の充実」「キャリア教育の推進」を3本柱として各小中学校が学校マニフェストを作成し、学力向上の取組を進めている旨、説明を行いました。その後PTA連合会からは次のような意見や質問がありました。

- コロナ禍での学習は、ほとんどの学校において8月末には通常の進度に追いついている旨の説明があったが、保護者の不安は払拭できていないようである。
- 全国学力・学習状況調査の結果において、小学校6年生では全国平均をやや上回っているのに対し、な



ぜ中学校3年生になると下回っているのか。

- GIGAスクールが伊勢市で先進的に始まっているが、実際にやってみるとネット環境が悪く端末がフリーズし、扱いが難しいようである。安定してネット回線に接続できるのか、また、児童生徒が不安なくタブレットを使いこなせるのか。

講座を通して、コロナ禍において児童生徒、保護者が感じている不安や疑問を聴かせていただきました。委員会からは、今後実施されるGIGAスクールについて、いただいた意見を踏まえしっかりと取り組んでいくことを伝えました。

公民連携手法(PPP)導入による公共施設整備に関する勉強会 10月9日(金)

国土交通省官民連携サポーターを務める^{あまめかずし}天米一志さんを講師に迎え、みだしの勉強会を開催しました。参加した議員16名は、現在、行政において進められている「伊賀市忍者体験施設整備事業」にも関連する公民連携手法のしくみ、国や市場の動向、具体事例の紹介、最近のトレンドなどについて学びました。

「公民連携手法」とは、民間の資金やノウハウを活用し、公共サービスの充実化を推進させるため、計画及び企画段階から民間が政策などに参加し、行政と民間が一体となって事業に当たることです。公と民がお互い適切にリスク分担を行い、パートナーとして公益実現のために事業

を行っていきます。

伊賀市では、今年度竣工した「いがっこ給食センター元気」がPPPによる手法の1つであるPFI(民間資金を活用した社会資本整備)により整備及び運用されています。

公民連携手法によるものとして、忍者体験施設の整備事業や旧上野市庁舎の利活用事業などが検討されており、複合機能化や経費縮減など様々なメリットが期待されます。今後は公民連携手法による事業の促進についてさらなる議論をしていきたいと考えています。



10/20

壬生野小学校



10/22

中瀬小学校



10/21

三訪小学校



ようこそ伊賀市議会へ！！

市内小学校の児童のみなさんが議場見学に来られました

議場見学に来ていただいたみなさんからの一言！をご紹介します



- ・ここ（議場）の見学を一番楽しみにしてた！
- ・マイクの近くで話したら、声が響いたので驚きました。
- ・議場では伊賀市の代表が出て、話し合っていると聞きました。市役所の人たちのがんばりが分かったので、私も勉強や運動にはげみます。

10/30

久米小学校



10/30

柘植小学校

12/4

玉滝小学校



市議会では、市の将来を担う子どもたちに議会を身近に感じてもらうため、議場見学を積極的に受け入れています。小中学生の社会見学として普段なかなか見ることのできない議場を訪れてみませんか。

※なお、会期中などの事情により、見学できない日があります。

令和3年3月定例会日程（予定）

3月28日に行われる市議会議員選挙のため、例年より早い日程となっています

2月10日（水）	本会議（開 会）
18日（木）	本会議（一般質問）
19日（金）	本会議（一般質問）
22日（月）	本会議（一般質問）
24日（水）	本会議（一般質問）
25日（木）	予算・決算を除く各常任委員会
26日（金）	予算・決算を除く各常任委員会
3月2日（火）	予算常任委員会
3日（水）	予算常任委員会
4日（木）	予算常任委員会
10日（水）	閉 会

- ・本会議と予算常任委員会は午前10時から始まります。
- ・その他の各常任委員会は開会日に決定します。
- ・定例会の日程は、変更になる場合があります。

会議の内容を 閲覧できます

市議会本会議等の会議録は伊賀市ホームページや議会図書室（冊子）でご覧いただけます。

令和2年12月定例会の会議録は3月1日以降となります。なお、会議録が出来上がるまでの間はホームページで音声をお聴きいただけます。



議会の傍聴に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場、委員会室及び全員協議会室で開催される会議の傍聴は、当面の間、自粛いただきますよう、ご協力をお願いします。

市議会（本会議・予算常任委員会）の様子は、行政チャンネル（ケーブルテレビ）で午前10時から放送しますので、できる限りそちらでの視聴をお願いします。（再放送は午後7時から）

なお、どうしても傍聴を希望される場合は、次のことをお願いしています。

- (1) 受付での非接触型温度計による体温測定
- (2) マスクの着用と咳エチケット、手洗い・手指消毒徹底
- (3) 傍聴席での他の傍聴者と間隔を空けての着席
- (4) 熱（37.5度以上）がある場合や、体調不良（だるい、咳が出るなど）の場合は、傍聴をお控えください。

※傍聴に関する情報は、随時「伊賀市議会ホームページ」でお知らせします。

訃 報

福田香織議員が令和3年1月4日に逝去されました。

平成25年の初当選以来、議員活動に精励され、副議長をはじめ、総務常任副委員長など多くの役職を歴任されました。

ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。



ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見を寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687 E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出ししています。

希望される場合は、上記までお問い合わせください。



編 集 後 記

『夢追い人』今回は自立支援施設『NPO法人 えん』のよく笑い・楽しく・話せる人、吉田克弥さんを現場で取材しました。施設を利用される方と、農業をされる方々の良きパートナーとして、福祉と農業の連携を推進し、みんなができる農業に取り組んでいます。夢は『畑で過労死すること』農業に従事する熱い思いが印象的でした。

詳しくは15、16ページをご覧ください。

これからも、もっともっと読まれる身近な議会広報紙をお届けできるように努めてまいります。ぜひ、お読みください。

（信田）



次号は5月1日です。

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

— 吉田さんはほかにも“つながる活動”をされていると聞きました。

吉田さん：小学校の栄養教諭とつながり、食育の授業に出掛けたり、市のふれあい教室(学校へ行きづらくなっている児童生徒が学校へ復帰できるよう支援する教室)の児童生徒さんと交流したり、自治協のイベントに呼んでいただいたり、人との出会いを大切にしています。いつか、市内にある他の福祉作業所と一緒に農福連携も進めていきたいですね。

— 吉田さんの夢を教えてください。

吉田さん：農業法人を作りたいです。「えん」の卒業生の一人から「吉田さんが会社を興すならその時は雇ってください」と言われています。彼ら彼女らの中で農業を仕事にしたいと考えている人たちの受け皿にもなりたいと思っています。他には「みんなが遊べる場所」を作りたいです。ゲームなどの空想の世界とつながっているのではなく、外で思いっきり遊ぶ！そんな場所を作りたいですね。

自分たちだけではなく、市内にある他の作業所にも一緒に農業しようと声掛けをしている吉田さん。生きづらさを抱えている人、農家のどちらにとっても win - win のいい関係でいられる農福連携に力を注ぐ吉田さんの熱い思いが伝わってきました。いつか吉田さんの夢がかないますように。さらなる活躍を応援しています！

吉田さんたちを支える心強い農家の方たちからひとこと！



ほりうち
堀田さん

「えん」さんにトマトやブロッコリーの収穫をお願いしています。メンバーが失敗した時は作業工程の課題も見えるようになり、工程を見直すことで作業効率がよくなり品質も高まりました。

メンバーみんなに心掛けていること

1. 声掛けする。
2. わかりやすい工夫(下の写真参照)の取入れ。
3. 褒める！みんなの自己肯定感が高まり向上心が生まれます！



とみただ
富田さん

いちごの「古葉を今日は1枚取って」とか、具体的に伝えていきます。

また、後回しになりがちな除草作業をやっていただくことで美味しいいちごを作ることに専念でき助かっています。

見える化の例

収穫後のブロッコリーは大きさによって仕分けされます。今までは見た目で見分ける方法を判断していましたが、写真のように誰でも判断できる分かりやすい方法に改善しました！



大きさ：ブロッコリーの横幅サイズをM、L、2Lと瞬時に見分ける手づくりの定規を使っています



長さ：ブロッコリーの縦の長さを15センチに切ることができる道具を取り入れました

応援します!!

★夢追い人★

第6弾

今回は、*農福連携の推進に力を注がれている自立支援施設「NPO 法人えん」の農場長吉田克弥^{よしだ かつや}さんにお話を伺いました。



※^{のうふくれんけい}農福連携・・・農家の高齢化や担い手不足などを、障がい者等が農業分野で活躍することで補い、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出し、互いに多くの利点生まれ、それぞれの課題解決につながっている取組み。

— 吉田さんは農業が大好きだと伺いましたが、福祉にも興味があつたのですか。

吉田さん：いいえ、6年前にこちらに就職するまで福祉分野には関わったことはありませんでした。偶然、ハローワークで「農場長募集!」を見て応募し、思いっきり農業がしたくて就職したのですが、就職して3日目に野菜の切り方について尋ねられ、その話の中で「私は知的だからわからない」と言われたのがきっかけでした。それまでは、福祉なんて何も知らないし、恥ずかしい話ですが、ただただ農業施設が手に入る、自分の農業ができるとしか思っていませんでした。

— 吉田さんが農福連携に力を注ぐようになったのはなぜですか。

吉田さん：ある時、福祉と農業の講演会を受講し、講師の先生に「自分の夢は畑で過労死することです」と話すと、「いい夢だね」と言ってくださり、しかし「もし自分が今夜交通事故をして腕が動かなくなったら、今の農業をしながら過労死できるの?」と言われ、何も答えられませんでした。その言葉をきっかけに「福祉と今の農業」にさらに興味を持つようになり障がいの有無に関わらずみんなができる農業に取り組みたいと思うようになりました。私は農業が好きで、そして一生農業を続けて誰かの胃袋を満たし続けたい、だからこそ、自分がどんな状況になったとしても農業をし続けるために、そして誰もがどんな状況でも農業ができるようにしようと心に決めました。

— 現在、どのような作業をされているのですか。

吉田さん：今の季節ならブロッコリーの収穫、各所に分かれて長ネギの個包装、イチゴの中間管理、小松菜の栽培と苗の管理などです。農家さんには作物を作るプロフェッショナルとして生産に専念してもらい、現在私たちは畑の草引きや肥料撒き、収穫、包装などを中心に行っています。



— 吉田さんは伊賀で多くの農家さんにつながっていますか。

吉田さん：偶然、農家さんが給食で使用できなかった野菜を収穫せず廃棄すると聞き、それなら私たちが収穫しますと手を挙げたのがきっかけです。それ以降、その農家さんに今でもお世話になっています。そのことがきっかけで、地元の JA さんを通じて知り合うことができ、今があります。また、私もそうですが、農家さんの多くは、長年自分の勘や経験などの自己感覚的なところにより農業をしていると思います。そこに私たちが入るとなると、感覚等で説明されてもわからないことが多くあります。その感覚を見える化や数値化などをしなければならず、私たち一人ひとりに合わせた新たなやり方を一緒に考えてもらうなど、そこに多くの時間を割いていただいています。新しいことを取り入れるというのは抵抗があったと思います。その中でこちらの想いを受け止めてくださり理解してくれた農家さんたちに出会うことができ、さらに横のつながりで新たな多くの農家さんともつながることができました。

— 吉田さんのメンバーへの思いを聞かせてください。

吉田さん：作業はスタッフ中心とするのではなく、一人ひとりに責任を持ってやってもらっています。その中でリーダー的存在になってもらい、お互い教え合えるスタイルをとっています。いろんな心配もありますが、勝手に彼らの「できる力」の芽を摘むのはいけない。「えん」はあくまでも彼ら彼女らの通過点ですから。

インタビュー記事は 15 ページ上段に続きます